

<b>SC番号</b> : JTC1/SC34 <b>規格番号</b> : ISO/IEC FDIS 13250-2 <b>投票期限</b> : 2006-06-26
<b>規格名称[英文]</b> Information technology -- Topic Maps -- Part 2: Data model
<b>規格名称[和文]</b> 情報技術 – トピックマップ -- Part 2: データモデル
<b>規格案の概要</b> トピックマップの抽象的な構造、および構文の解釈を定義する。トピックマップの併合規則、基本的な公開主題識別子も定義する。それによって、トピックマップの計算機内部での表現方法を統一し、構文、処理環境に依存することなく、トピックマップがもつ情報を維持、共有、交換することが可能になる。
<b>回答案</b> [ 該当する項目に を記入すること ] ( ) 賛成 ( ) 反対 ( ) 棄権 コメント ( 賛成の場合は Correction のみ、反対の場合は必須 ) ( ) 有り ( ) なし
<b>回答案の理由</b> 日本からのコメントはすべて反映され、内容も十分審議され成熟したと考えられる。さらに、既にトピックマップは多くの分野で使用されていて、本規格の早期制定が望まれている。  <b>コメントの主旨</b> [コメントがある場合]* <u>英文コメントはテンプレートに記載の上、添付すること</u> 単純な修正漏れの指摘と、String (文字列) の定義をよりシンプルで的確にするための編集上の修正提案。
[ 該当する項目に を記入すること ] <b>WGへの対応</b> : 参画の有無 ( ) 参加 ( ) 不参加 <b>最終CDへの対応</b> : ( ) 賛成 ( ) 反対 ( ) 反対(条件付き) ( ) 棄権 <b>我が国からの提案</b> : ( ) JIS(番号 ) ( ) その他( )
<b>JISへの対応</b> [ 該当する項目に を記入すること ] 1. 対応する JIS がない場合 JIS を制定する 必要がある ( ) 必要はない ( ) (理由) 既に国内での利用例があり、今後さらに利用が増えることが予想される。 備考: マルチパート構成をとらなかった以前の ISO/IEC 13250:2000 に対応する JIS は、JIS X 4157 として制定されている。 2. 対応する JIS がある場合 ( JIS 番号 _____ ) (1) JIS を改正し国際規格と整合させる必要がある ( ) (理由) (2) JIS を改正する必要はない ( ) (理由)
<b>審議団体名</b> : (社) 情報処理学会 情報規格調査会 <b>回答案作成者 (又は回答案責任者) の氏名、所属及び連絡先</b> 氏名 : 小町 祐史 所属 : 大阪工業大学 情報科学部 電話番号 : 072 866 5190 E-Mail : komachi@y-adagio.com



<参考> 制定する国際規格について次の設問にも回答して下さい。

この国際規格は国内でどの程度使用されるか、該当する( )に 印をつける。

(1) 国内で使用される . . . . . ( )

(2) 国内では使用されない . . . . . ( )

(3) 不明もしくはどちらともいえない . . . . . ( )

コメント(上記設問の回答に付すコメントがあれば):